

# ルールの背景

印西市立滝野中学校 三年 横山 実里

「なぜルールや決まりを守らなければいけないの？」

皆さんはこのような問いを投げかけられた時、理由を根拠も含めて即答することができますか？

私がまだ一年生だったある日、友人に服装の乱れを伝えたところ、その友人から、「なんできまりを守らなければいけないの？めんどくさいじゃん。」と返されました。その時に私はハッとしました。今まで私は「ルールがあるから」という理由だけでルールを守っていましたが、「なぜルールを守らなければいけないのか」ということは考えたことがありませんでした。つまり、ルールの背後にある理由を自分自身もよく理解できていなかったのです。私の心には何とも言えないもやもやした気持ちが残りました。

次の年、二年生になった私は生徒会長になりました。そして、生徒全員に学校のきまりについてのアンケートを行い、なぜ存在するのかわからないルールやなくてもよいと思うルールを答えてもらいました。

その結果、私だけでは思いつかなかったものも含むかなりの数のルールがアンケートの回答で挙げられました。

私は集まった回答をもとに、各委員会や担当の先生方にルールの背景を尋ねました。中には私の所属する生徒会本部が回答しなければいけないものもあり、自分自身もその過程でなぜルールがあるのか、なぜ守らなければいけないのかをしっかりと自分なりに考えることができ、納得することができました。

その後、各委員会や先生からの返答は校内放送を用いて全校生徒と共有することで、ルールを守る人が増えました。また、一部のルールは廃止になりました。

この経験を通じて、私はルールが存在する理由や、その必要性を考えることの重要性を学びました。また、ルールに対しての理解を深めることで、ルールを守る人が増えることも実感しました。そして、ルールはただ守るべきものではなく、常に見直し、

改善していくべきものだと強く感じました。

今、世界全体（もちろん日本も含む）で様々なルールが改正されたり、改正についての議論が行われています。私は、このような場でもルールが出来た背景を考えることは大切だと思います。

ルールを変えることに対して考える際には、単に現在の出来事を理由にするだけでなく、過去に、なぜそのように決められたのかという歴史的背景をしっかりと考え、ルールを見つめ直すことで、より良い社会が実現できると私は思います。